

## 第2 教育研究団体の意見・評価

### ○ 全国公民科・社会科教育研究会

(代表者 大山 敏 会員数 約1,000人)

T E L 03-3958-0121

#### 1 前 文

出題内容は学習指導要領に掲げられた教科・科目のねらいおよび内容に概ね則しており、基礎・基本を重視したものとなっている。平易な問いを中心に高校生が学習した知識や涵養した思考力に基づき、考えて解いていく工夫が施されている標準的な問題である。ここでは後期中等教育を与える現場からの意見と評価を申し述べる。

#### 2 試験問題の程度・設問数・配点・形式等

全体をとおして質・量ともに共通テスト初年度以来、同程度を維持している。大問5、解答数30という形式は共通テスト初年度以来継続しており、平均点も60点前後で大きく変動することなく安定した出題である。学習指導要領に則り、基礎的基本的な知識を確認する問いや、確かな基礎的基本的な知識に基づき資料等を読み込み「現代社会」で学んだ見方・考え方を発展させた思考力判断力を駆使して解く問を中心に構成されている。難問奇問は見られず平易ながら考えて解く工夫がなされている。大問の状況設定に無理があるのは共通テストならではの制約とは理解できるものの、出題される先生方の専門性を活かした学問としての背景のあるリード文を高校生に読ませ、「現代社会」を学習した延長線上に高等教育があることを実感させ、深遠な学問の世界に向かう尊さ、真理の探究者の一員として学問を修めることへの畏敬の念を育てるとともに、学問への真摯な姿勢を涵養する工夫も期待したい。それだけ共通テストがもつ高校生への影響力は大きく、かつ重い。問の構成も「現代社会」で学ぶ内容をただ寄せ集めたものではなく、解きながら体系立てた学びが深まり、大学での研究につながることを感じさせるものであるべきだろう。

以下、各設問について意見と評価を申し述べる。

第1問 海外研修に参加したというつくりでの小問集合。後期中等教育における「現代社会」の学習内容を踏まえた知的なリード文を示した上で問いを設定すべきではないか。

問1 サービス貿易の実例を分類することで思考力判断力を問う。アは海外研修先という状況を考えれば国外消費、イは日本の運輸会社の現地支店という状況から商業拠点設置、ウは日本人ピアニストによる海外公演であるから人の移動、と分類でき正答が得られる。

問2 海外研修中の買い物から外国為替市場の仕組みについて基礎的基本的な知識を問う。①円安円高を逆に考えているので誤り。②説明内容は変動為替相場の話なので誤り。③ドル売り・円買い介入すればさらなる円高になるので誤り。④正文。

問3 「思い出」せば何でも問いになる。設問の設定がいかにも不自然。EUについての基礎的基本的な知識を問う。①マーストリヒト条約は正しい。②ギリシア危機でユーロ安だから誤文。③EUでは金融政策は一元化しているが財政主権は各国が持っているから誤文。④第二次世界大戦後、最初はEECではないので誤文。

問4 国際関係についての基礎的基本的な知識を確認する。①領海の外に排他的経済水域は設定されるので誤文。②国際連合の主要機関六つを問う。経済社会理事会がないので誤文と分かる。③GATTはWTOに発展改組されたので誤文と分かる。

問5 3か国による自由貿易協定を結んだ時の利益と損失を示す表とメモと称する説明文から地域経済統合の影響を考える。関税40%をかける時700円で関税ゼロの時500円だからアの関税収入は $700 - 500 = 200$  (円)。B国から関税40%かけて700円の一方C国とはFTA結び関税ゼロなので600円だからイの恩恵は $700 - 600 = 100$  (円)。A国の損失額ウは $200 - 100 = 100$  (円)。

問6 ライシテを意識してA～C三つの文章の読解力を問う。「現代社会」というより国語の問題でもある。賛否別れるところだろう。

問7 先進国と開発途上国の医療資源の格差問題についての二人の意見を示す文章を読み、論旨に則した表現を選ぶ形で読解力を問う。アの直前に「特許」に触れておりZと分かる。イの直前に「治療薬を今すぐ」とあるのでYと分かる。二つの意見全体を読まなくても正答は容易。

第2問 二人の高校生が将来の目標を語る設定での会話文とインタビュー資料を読み、各問いに答える。事実上の小問集合。語り合うことも大切だが、共通テストが後期中等教育にある生徒たちに大学で学ぶにはこれだけの知的水準が必要なのだという水準を示すリード文を設けることの方がはるかに重要だと思われる。後期中等教育における「現代社会」の学習内容を踏まえた知的なリード文を示した上で問いを設定すべきではないか。

問1 青年期の特徴についての基礎的基本的な知識を問う。①第二次性徴。②説明の内容はモラトリアムではなくアイデンティティの拡散。③説明の内容は第二次反抗期。④レヴィンのマージナルマンとして正しい。

問2 パーソナリティについての調査結果について話している二人の高校生の会話に文脈に適した表現をあてはめる問い。何をどのように比較しているのか読み取る力が問われる。

問3 インタビューを読みながら企業について基礎的基本的な知識を確認する。Aの直前にNPOなどに触れていることから社会的企業をAに、Bはステークホルダーなどに触れていることから企業の社会的責任をBに、それぞれ当てはまる。

問4 1963年から2020年までの有効求人倍率のグラフを示すものの戦後日本経済史の基礎的基本的な知識を問う。グラフを示すならばグラフを有効に使う出題であるべきだ。もちろん、戦後日本経済史を出題することは大切だ。Aは第一次石油危機の影響を述べていてイ、Bは小泉内閣による構造改革を述べていてエ、Cは高度経済成長の説明でア、Dは第二次石油危機の影響を述べていてウ、と分かる。

問5 現代思想に関する基礎的基本的な知識を問う。①の内容はサルトル、②正文、③の内容はマザー・テレサ、④の内容はフロム、といずれも平易。

問6 財政について基礎的基本的な知識を問う。①正文、②は財政投融资と特別会計を取り違え、③は自主財源と一般財源を取り違え、④は「三位一体の改革」での補助金減額を増額と取り違えている。いずれも平易。

問7 マズローの欲求階層説について内容を理解しているかを問う基礎的基本的な知識の問い。Aは所属する集団や家族とあるので所属と愛情の欲求と分かり、Bは音楽家、美術家、詩人とあるので自己実現の欲求と分かり、Cは脅かされる時や脅威がある場合に必要になるとあるので安全の欲求と分かる。平易。

第3問 経済学部の体験講義に参加したという設定で経済について基礎的基本的な知識と知識に裏付けられた思考力判断力を問う。共通テストが後期中等教育にある生徒たちに大学で学ぶにはこれだけの知的水準が必要なのだという水準を示すリード文を設けることの方がはるかに重要だと思われる。後期中等教育における「現代社会」の学習内容を踏まえた知的なリード文

を示した上で問いを設定すべきではないか。リード文のもつ教育的意義は大きいことを大学側は知るべきである。

問1 名目GDPと実質GDPの違いからについてノートに示された説明を理解して解く工夫はされているものの、基礎的基本的な知識を問うものになっている。

問2 政府の経済活動への関わりについて基礎的基本的な知識を問う。①正文。②公共的な財やサービスの提供は市場メカニズムに任せると供給されないから誤文。③労働基準監督署(局)と労働委員会の誤解。④トレーサビリティと食糧管理制度の誤解。

問3 アジア情勢の説明をとおして基礎的基本的な知識を問う。①社会主義市場経済の説明。②水平貿易の説明。③正文。④中国主導のAIIBの説明。いずれも平易。

問4 説明文の理解を前提にサービスの取引を選ぶ。三つの選択肢全てが該当する平易な問い。

問5 先生と生徒の会話を通して、Webサイトの利用者は毎回人気のサイトを使うことから、利用者の多いサイトはさらに人気が出ることと、競争原理が利用者に利益やメリットをもたらすことを理解できればよい。

問6 国家・政府の経済的役割に関する基礎的基本的な知識を問う。①G7は1986年から開かれている。②修正資本主義は「大きな政府」を目指す。③自治事務と法定受託事務にまとめられた。④正文。いずれも平易。

第4問 裁判を傍聴した生徒を想定して司法制度、刑罰の目的や性質、SNSでの拡散、人権保障の最高裁判例、法と政治などについて考える問題。

問1 請求権についての基礎的基本的な知識を問う。

問2 刑罰の目的や性質について説明した文章の読解力を問う。法的なものの見方・考え方の基礎と思考力判断力を問う。

問3 街角に設置される防犯カメラを切り口に人権擁護か犯罪抑止か議論を理解する思考力判断力を問う。

問4 基本的人権に関する最高裁判例についての基礎的基本的な知識を問う。③『石に泳ぐ魚』事件はプライバシーの権利の判例として基礎基本である。

問5 国会および国会議員について基礎的基本的な知識を問う。政治資金については基礎基本ながら重要な問い。

問6 選挙について、連座制の適用について基礎的基本的な知識を問う。

問7 選挙以外の政治参加について会話を追いかけてながら地方自治における直接民主制的な制度に関する知識を問う。

第5問 子どもの貧困を主題にした探究という建付けで広く思考力判断力を問う。

問1 メモの読解と二つの表を読み取る力をみる。平易ながら大切な問い。

問2 聞き取った内容を図に基づきながら整理し適切な取組みを選ぶ思考力判断力を問う。

問3 中間発表の形をとりつつ会話文の読解を踏まえた思考力判断力を問う。もっとも二つの空所前後の文脈を見るだけで所得税の累進性やNPO、学生、高齢者などの福祉活動への参加という選択肢が選べる。